

令和 8年 5月 14日

発行：南城市立大里北小学校

特別支援教育コーディネーター

TEL:098-945-2362



特別支援教育は、特別な子どものための特別な教育ではありません。すべての子どもたちが自分らしく楽しく学べるよう支援の輪を広げていきたいと考えています。



お気軽にご相談ください。
よりよい方法を一緒に考え
ましょう。

適切な支援で子どもたちの成長をサポート!

真面目に学習しているのに、カタカナや漢字の読み書きがなかなか定着しなかったり、計算が極端に苦手だったり、行動や感情をコントロールすることが難しかったり、落ち着いて座っていることが苦手だったり…。文部科学省の調べによると、このような子ども達は、全体の約8.8%ほどいるそうです。このような場合は、家庭と学校が協力して支援していくことが大切です。子どもの良い面に目を向け、楽しく学校生活を送れるように適切な支援を考えていきましょう。



多様性の尊重 … いろいろな人がいるということを認め合う。



♪つまり みんな違ってみんな良い
心配するよりも信頼 自分にしかない光灯せ
愛情持てその才能個性
君は力もち 君は頭がいい 君は顔がいい
君はみんなに優しい 歌がうまい
絵がうまい けして最後まで諦めない
そんないろんな奴で世界は回ってるはずで…

ケツメイシ「スーパースター」より

左は、アニメ“クレヨンしんちゃん”の主題歌にもなっている、音楽グループ“ケツメイシ”の「スーパースター」という曲の歌詞の一部です。この曲からも伺えるように、人は、様々な個性を持っています。“十人十色”という言葉も、これに当てはまりますね。性格の違いや得意・不得意の違い、考え方の違い…。いろいろな人がいるということをお互いに認め合って楽しく過ごしていけるといいですね。

学校における学びの場

社会の中には様々な人がいるように、学びの場も多様です。今回は、大里北小学校における学びの場について紹介します。

1年1組から6年2組までの教室 …… 35～40名までを1クラスとして学習を行う場所。

通級指導教室 …… 学習上又は生活上の苦手さの改善・克服を目的とした指導を見童生徒の教育的ニーズに応じて行う場所。対象となった見童は、普段の授業は1年1組から6年2組の自分の学級で行い、見童の実態によって、週に1時間程度、通級指導教室にて学習する。

特別支援学級 …… 小学校において、障害のある見童生徒に対し、障害による学習上又は生活上の困難を克服するための学習及び教科学習を行う場所。

それぞれの見童に合った学ぶ場所があります。「学びの場の違い」も、お互いに認め合って、学んでいけるといいですね。

大里北小学校の特別支援教育について

- 「見童支援委員会」で一人一人のお子さんへの適切な支援を検討します。
- 支援の対象となった見童に対して「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成し、実態にあわせた支援を行います。
- 医療や福祉、教育センターなどの専門機関の紹介を行います。
- 全校見童に対して特別支援教育や多様性の尊重に関する教育を行います。
- 職員研修や職員会議において特別支援教育について学び、学級経営に生かします。



私たちは、子どもたちが成人になったときに社会で自立していけるようにするために、小学校でできることを保護者のみなさんと一緒に考えていけたらと思っています。